

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 1 月 1 日

業所名 コベルプラス 松井山手教室

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	2		
	②	職員の配置数は適切である	1	5		職員配置数に関しては少ないと意見も多く頂いており、本部とも適宜増員に向けて対応しておりますが、なかなか実現にいたっておらず申し訳ございません。 今後としても、引き続き人員が確保できますよう努めてまいります。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的に教室がわかりやすくなるように、教室に沿った動物を掲示しています。 ・教室の職員のプロフィールを掲示し、保護者やお客様にどの様な職員がいるのかと、わかりやすくしています。 	様々な感覚過敏の子にも対応できるよう、環境整備を進めていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		<ul style="list-style-type: none"> ・床に関して、防音、防衝撃対策にマットを重ねて敷いております。 ・安全配慮義務として、子どもが入れない場所に柵を設けています。 	感染防止の観点からも換気扇を常時点灯し窓の開閉だけでない換気方法を継続して行います。

					・感染対策として、常時換気扇を点けています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	2		PDCAサイクルの価値観を周知するとともに、職員個々人が尊重され心理的安全を得ることに努め、それぞれが主体性を持って業務改善を図れるような環境づくりを目指していきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		・普段から、承ったご意見に関して迅速に対応できるようにしています。 ・ご意見を承った際には、情報を職員で共有し適宜対応するようにしています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		・ご利用されている保護者の方にもご協力を頂き実施しています。 結果は公開しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	・内部研修を中心に、職員の資質向上に努めています。	継続的な研修を行えるようにし、専門性の向上を図ります。外部研修を含む学ぶ機会を確保できるように、環境面に関しても積極的に整えられよう努めます。
適切な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	1		

支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		・コペルプラスでのアセスメント専用の教材を準備しています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6			

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		・主に担当者、チームを決めて、行事やイベントの企画立案を行っています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		・基本的に毎回内容が変わるように配慮しています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	6			子どもの活動状況を都度見直しを行い、より子どもや保護者のニーズにあったバランスでの療育ができるように努めます。 ・時間、定員という要因もあり、個別療育、集団療育のバランスに偏りがある場合があります。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		・朝礼を始め、事前打ち合わせを適宜行い、内容の確認などを行った上で、支援に当たれ	

					るようになっています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			より情報や視点の共有が密にできるように日常業務を工夫し時間を意図的に作れるようにさらに努めています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	1	・基本的に半年に一度のモニタリングを行い、見直しをその度行っています。	見直しなどにおいては、より根拠を踏まえて情報共有をすることで、支援計画の理解を促せるようにしていきます。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6			申し入れがあれば、適宜カンファレンスなどを含む協議にも参加し連携を進めていきます。必要に応じてこちらからも、他連携機関と協議の申し入れをしていきます。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6			かかりつけ医を事前にお伺いし、必要に応じて保護者の方の許可を得て連携できるようにしています。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5			
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			・保護者の方の希望があれば積極的に幼稚園や保育園の訪問を行い、

					支援を行っています。	
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		・就学にあたって、必要に応じて情報共有を行っています。	
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	・他事業所と相互理解と支援や、考え方等の情報共有を行うために話をする機会を設けることがあります。	専門機関との機会を必要に応じて設定できるようにしていきます。
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	3		

	②9	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	4	・子ども部会に参加しています。	
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	6		・最低毎月1回の実施を行っています。	
	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		・契約時に行っています。	
保護者への説明責任等	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6			
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		・事業所から保護者様に最近の様子を含め、お声掛けをさせていただき、必要に応じて改めてその場を設	

					定することもあります。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5		・主催として実施することがあります。	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		・保護者の方の相談体制を、必要に応じて対応できるように用意しています。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	・line を活用し、子どもや保護者に発信を行っています。 ・また Instagram を教室でのアカウントで運営し、日頃の様子を含んめて発信しています。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	6			
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	1	・夏祭りを地域に開放して実施しています。	
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	1	・年2回の実施をしています。	
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	・年に2回自然災害だけでなく、人的災害も想定して執り行っております。	

④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6			
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	1		食物の取り扱いはございません。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		・事例の取りまとめを役割として、事例の共有ができるようにしています。取りまとめた内容に関しては本部とも共有しています。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1	最低年に1回虐待に関する研修に参加することとしています。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		・契約時に説明を行っています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。